

会議録

会議の名称	平成24年度 第1回環境審議会
開催日時	平成24年7月13日（金曜日） 10時00分から12時00分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎501会議室
出席者	坂口市長 委員：加納委員、勝村委員、井野委員、田辺委員、宮加谷委員、渡部委員、伊藤委員、齋藤委員 事務局：金谷みどり環境部長、清水環境保全課長、田中環境計画係長、相本主任
議題	1 開会 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 会長・副会長の選出 5 諮問「環境基本計画策定について」 6 議事 (1) 会議録形式の決定 (2) 傍聴の取扱いについて (3) 計画策定スケジュール (4) 会議の運営について 7 次回会議の日程調整 8 閉会
会議資料の名称	資料No.1 西東京市環境審議会委員・事務局職員名簿 資料No.2 西東京市環境審議会の運営について 資料No.3 諮問「環境基本計画策定について」（写） 資料No.4 策定スケジュール（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会 ・本日は二宮委員、清水委員が都合により欠席。</p> <p>2 委嘱状交付 ○坂口市長： 環境問題はローカルでありかつグローバルでもある。昨年の東日本大震災を経験し、日本全体に環境に対する意識が変化した。これら状況を踏まえ、今後10年を見据えた西東京市の環境政策のあり方をご議論いただきたい。</p> <p>3 委員紹介 ・各委員の紹介。</p>	

4 会長・部会長の選出

- ・会長に加納委員、副会長に勝村委員を全会一致で選出。

○会長：

現行計画を見ると、環境基本計画で扱う範囲は幅広い。市の現状に詳しい委員にご助力いただきながら環境審議会を進めていきたい。

○副会長：

会長を補佐し、誠心誠意副会長を務める。

5 諮問「環境基本計画策定について」

- ・市長から環境審議会へ諮問。

6 議事

(1) 会議録形式の決定

- ・会議録の形式は、発言者の発言内容ごとの要点記録とする。

○事務局：

会議録は公開する前に委員に確認する。

(2) 傍聴の取扱いについて

○会長：

傍聴の形式であるが前回まではどのような形式であったか。

○事務局：

これまでの環境審議会では5人の傍聴枠を設けていた。次回以降会場として予定しているエコプラザ西東京の講座室では10人程度の傍聴が可能であると考えている。

○副会長：

例年であれば5人の傍聴枠に、2人程度の場合が多かった。

○渡部委員：

広く公開されることが望ましいので、傍聴枠はなるべく多く設けておいた方がよいと思う。

○会長：

10人は無理なく入るとのことであるので、傍聴人は最大10人とする。

(3) 計画策定スケジュール

- ・事務局よりスケジュール案の説明。

○副会長：

諮問文の下から2行目、「改定」でなく「策定」なのか。また、本計画と現行計画の

関係はどのようになるのか。

○事務局：

平成16年に策定した「西東京市環境基本計画」の計画期間が平成26年3月で終了するため、新しい計画を「策定」するものである。

現行計画は平成26年3月までの計画であり、新しい計画は、平成26年4月からの計画である。

○会長：

今までの結果を踏まえて、新たな計画を策定することとなる。

○井野委員：

市民意識調査の結果は、どのように利用するのか。

○事務局：

市民意識調査は、3500人を無作為抽出し実施する。事務局で意識調査の項目案を作成し、環境審議会に示す。なお、調査結果の取扱いについては環境審議会で決める。

○伊藤委員：

前回の市民意識調査の調査票を配付してほしい。

○事務局：

配付する。総合計画も現在策定中であり、そちらでも市民意識調査を実施している。また、他にも意識調査を実施しているため、新たな計画の策定に関連する調査結果については、環境審議会に報告する。

○渡部委員：

現行計画が終了するに当たって、どのような点がうまくいかなかった等の報告はあるのか。

○事務局：

事務局で現行計画の施策の進捗状況調査を担当部署に対して行う。その結果をとりまとめて環境審議会に報告する。

○渡部委員：

施策の進捗状況調査は書面だけでなく、対面での聞き取り調査も行うのか。

○事務局：

書面だけの調査ではなく、必要に応じて担当部署に出向きヒアリングを行う。

○会長：

施策の進捗状況の確認については、第3回の環境審議会で報告予定ということか。

○事務局：

その予定である。

(4) 会議の運営について

・事務局より議会運営について説明。

○井野委員：

審議内容によっては、1回で審議が終了できない場合があるのではないか。

○事務局：

各委員への書類、委員からの提案事項の事前配付、意見の事前聴取等により、予定している審議を毎回終了するようにしたいと考えている。

○渡部委員：

取組は、理想だけではなく予算を見据えて考える必要がある。

○会長：

環境に関する基本計画の策定であるので、単年度の予算に縛られずに、5年後、10年後を見据えて提言すればよいのではないか。

○田辺委員：

諮問にある、本年2月に出された「東日本大震災を踏まえた今後の環境政策のあり方について」はどのような内容か。

○事務局：

東日本大震災を受けて、自立・分散型エネルギーの確保等のエネルギー政策や地域で連携した環境保全の取組、環境学習等、今後の東京都としての環境政策の方向性を示している。

井野委員：

特定の企業が持つ技術に依存する取組を環境審議会で提案することは可能か。

会長：

一業種に関する提案を本計画に盛り込むことは難しい。しかし、知識を共有するのはよいことだと思う。

7 次回会議の日程調整

○会長：

今回は、全員の都合が良い8月7日午前9時30分とする。

○事務局：

エコプラザ西東京で行う。

○副会長：

昨年までは通年で14時からと開始時間を固定していた。今回は毎回変えるのか。

○会長：

なるべく参加人数が多くなる日時を開催したいと思う。少し開催してみて、開始時間を固定するかどうかを決めたい。

3 閉会

○会長：

本日の環境審議会は以上で終了する。

以上